学校番号	105

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新図説家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	ﾆｭｰﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ家庭科 2021						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・調理実習のために、エプロン、三角巾、手拭き用タオルを用意して下さい。
・生活していく中で、困ったことや、問題に感じたことを分析し、解決方法を考えます。自分だけで考えるだけではなく、友人と話をしたり、討論をしたりして、解決方法や改善方法を見つけていきましょう。
・実験や実習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。コロナウイルス感染拡大下での生活について学習する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	短時間で、特別な技術を必要とせず、素材を活かしてしかも栄養のバランスもとれ、美味しい料理を作れるような技術を身につける。 立体構成を理解し、ミシンが使えるようになる。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につける。
評価方法	プリントの記録 実習計画書 実習レポート 課題研究 研究発表 作品	プリントの記録 実習計画書 実習レポート 課題研究 研究発表 作品 定期考査	実習作品 実習レポート 実習状況の観察 定期考査	定期考査 実習計画書 実習レポート プリントの記録 課題研究 研究発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人とかかわって生きる	1.　自分らしい生き方と家族 ・人の一生とライフステージ ・現代の家族 ・家庭生活の成り立ち ・家族と社会	○	○	○	○	a:自立した生活を営むためには、生活を見通した職業選択、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）などが重要であることを認識している。 b:　これからの家族に関する課題や問題点について思考を深めている c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身につけている。 d:家族に関する法律について理解している	プリント ワークシート 定期考査
		2.　子どもとかかわる ・子どもの発達を学ぶ ・子どもの生活を知る ・子どもと育ち合う ・社会が子どもを育てる	○	○	○	○	a:乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解している。 b:少子化や子どもを取り巻く環境の変化などによるさまざまな問題点について理解し、この問題の解決のためには児童福祉の理念が重要であることを認識している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	

1学期	人とかかわって生きる	3.　高齢者とかかわる ・超高齢社会を生きる ・高齢期の心身の特徴と暮らし ・高齢期の暮らしを支える仕組み	○	○	○	○	a:高齢者の生活心身の変化などに関心を持ち、自分の将来の姿としてとらえ、意欲的に学習に取り組んでいる。 b:将来の高齢者福祉の在り方について、どのように解決したらよいかなど、自分の考えを言うことができる。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身につけている。 d：高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	プリント ワークシート 定期考査
2学期	生活をつくる	1.　衣生活をつくる ・衣服の管理 ・ペンケース製作	○	○	○	○	a:　社会的慣習に適応し、自己表現する着用目的に応じて、健康的な被服選択と着装ができる。 b:　被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し、表現している。 c:ミシンを使う技術を持っている。 d:被服の入手、洗濯、保管など衣生活を自ら管理する知識をもっている。	プリント 作品 実習レポート 定期考査
		2.　食生活をつくる ・栄養と食品 ・食品の洗濯と取り扱い ・献立作成 ・調理の基礎 ・調理実習	○	○	○	○	a:社会的な問題ともかかわる現代の食生活の現状と課題に関心を持ち、意欲的に学習に取り込もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身につけている。 d:食生活の安全や衛生の知識を身につけている。	プリント 実習態度 実習レポート 定期考査

3学期	生活をつくる	3.　住生活をつくる ・住まいを見つめる ・安全で健康な住まい ・これからの住生活と住環境	○	○	○	○	a:家族が安全で、快適、かつ健康な生活を行う場としての住居につい関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:　住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c：地球環境に配慮し、耐久性の高い住居について科学的に理解し、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身につけている。 d：住居の条件を理解して、家族の生活に応じた適切な住居計画や選択ができる知識をもっている。	プリント ワークシート 定期考査
	消費者として自立する	1.　消費行動を考える ・経済的な自立を目指して ・将来の経済生活を見通すn ・消費者の意思決定 ・消費者問題の発生と消費者の権利 ・消費者市民社会の実現に向けて	○	○	○	○	a：様々な消費者問題について認識し、消費者の権利や責任について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身につけている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身につけている。	プリント ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。